

平成 25 年第 1 回区議会定例会における区長答弁骨子

【質問】中・高校生の新たな居場所づくりについて、どのような問題意識を持って取り組もうとしているのか。

【答弁】区では、これまで、中・高校生の健全育成を図るための居場所として、41か所の児童館を整備するとともに、平成9年には児童青少年センター「ゆう杉並」を開設し、その機能を果たしてきた。

しかしながら、現在、これらの施設を利用している中・高校生は、ゆう杉並は1日平均約150人である一方、各児童館は約3人となっている。その背景には、特に児童館については、中・高校生向けの専用スペースが十分確保されていないことや、開館時間が午後6時までというように限定的であることなどもあるが、「そもそも乳幼児から高校生までの幅広い年齢の児童を同一の施設で対応することは現実的ではないのではないか」、「児童福祉法の括り方は、現在の児童を取り巻く状況の中では現実とかい離しているのではないか」と考えている。

こうした状況を踏まえ、平成25年度に、専門家等による知見を活かしながら、これからの時代にふさわしい中・高校生の新たな居場所づくりのあり方等を取りまとめていく考えである。